

南 風 2018年2月 第23号

みなみかぜ

発行 有秋南小学校区安心安全ネットワーク
問合せ 姉崎保健福祉センター TEL 62-8601

南小安心安全ネットワーク規約 第3条

本会は、地域福祉活動を推進する団体や個人の連携により、その活動を相互に補完し、協働活動を通して地域課題を解決し、地域の価値を創出することを目的とする。

明治維新が起きた1868年にわずか3400万人あまりだった日本の人口は、食生活の向上、医療・衛生状態の改善や経済成長によって、急激に増え続け2010年には12,806万人に達した。ところが2015年発表の国勢調査で、初回調査から約100年にして初めての減少となった。そして今、私たちが立っているのは、急上昇してきた登り坂の頂上を僅かに過ぎたあたりになる。これから先の急降下が不気味である。

人生100年 長い老齢期を どう過ごす

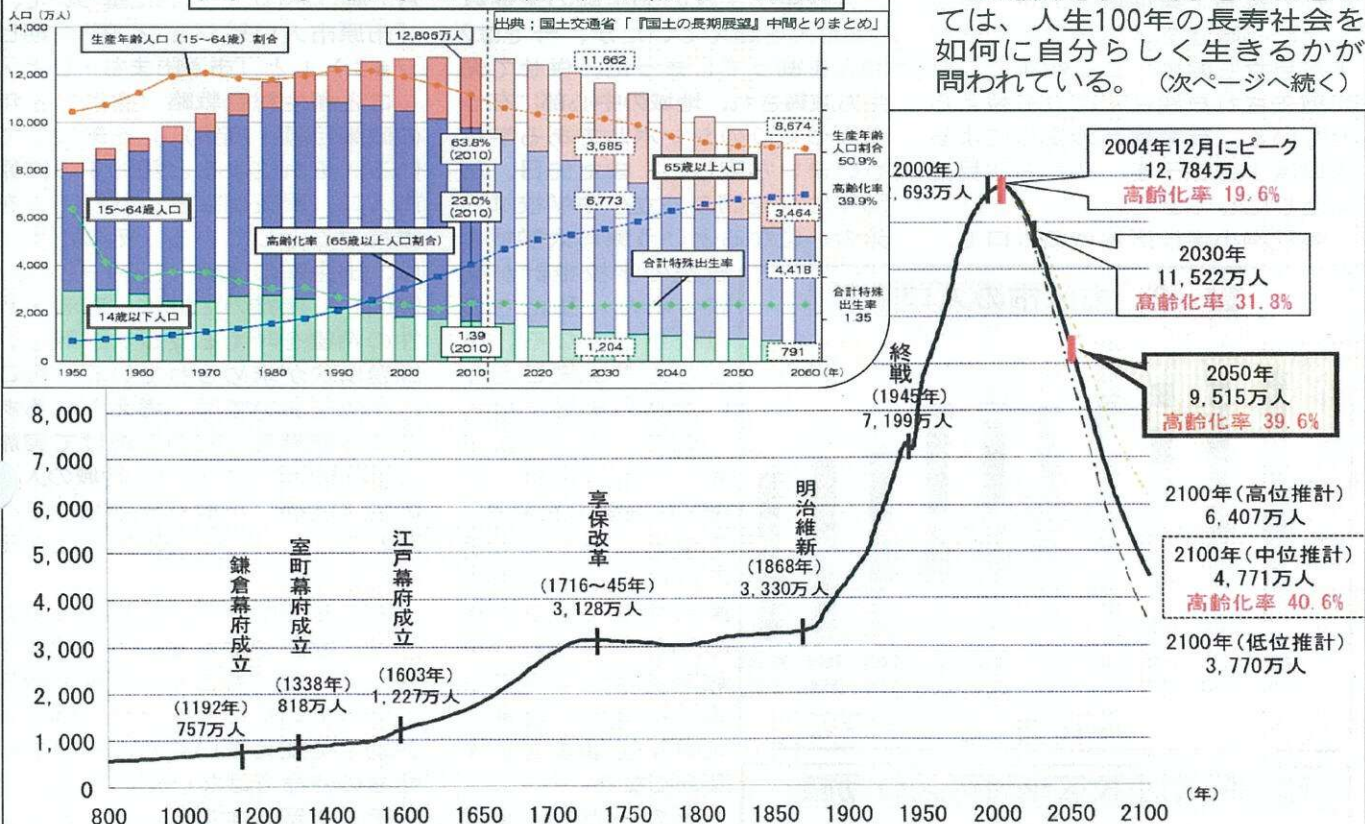
さらに、人口減少と並行して急速な高齢化が進む。東京オリンピック・パラリンピックの5年後2025年は、団塊の世代が75才以上の後期高齢者になる年である。その後、日本

は5人に1人が75才以上という超高齢社会に突入する。

こうした現象は、日本の過疎化や財政の困窮化をおし進め、社会の活力を失することになる。更に言えば、国家存続の危機である。

また私たち一人ひとりにとっては、人生100年の長寿社会を如何に自分らしく生きるかが問われている。(次ページへ続く)

図-1. 日本の長期人口動向・推計



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

冬の入浴 要注意

- ①入浴前、更衣室、浴室を温める
- ②湯温は41度以下、湯につかる時間は10分未満
- ③浴槽から急に立ち上がらない
- ④飲酒、食事直後は控える
- ⑤入浴する前に同居者に一声かける



見守りVR募集中

見守り訪問をお願いしたい方、お手伝いをしてみたい方
見守り・支え合いの楽しさを体験しよう！
南小ネットワーク

人口激減時代の始まり！

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」によれば、2010年時点において1億2,800万人を数えた日本の総人口が、40年後には1億人を下回り、100年も経たないうちに5,000万人ほどに減る。10年の間に1千万人近い人口が減少する社会とはいかようなものか。反対に人口拡大時代を生きてきた私たち現在人には想像すら困難である。

残念なことに日本の少子化は簡単には止まらず、このままでは日本という国家が成り立たなくなる。一発のICBMも必要なく沈没だ。

市原市の人口についても、2015年に274,656人の人口が、10年後の2025年には264,671人、2060年には172,636人に減少することが見込まれている。

有秋地区でも、既に21世紀初頭から、臨海工業地域の工場が建設した4~5階建てアパート群の空洞化が目立ち始め、ここ数年でこれが撤去され戸建住宅に立て替えられている。産業構造の変化による人口減少の様子を、私たちは目の当たりにしてきた。

有秋南小学校区地域の人口も、

人口激減、高齢者激増

国難を知る！

年率1%近い猛スピードで減少している。

国土交通省の推計によると、現時点で人が住んでいる地点の約2割が2050年までに人の住まない無居住化地域になるという。日本全土が過疎化とも言うべき事態である。限界集落いや限界国家である。

超少子超高齢社会の到来

日本の人口減少の恐ろしいのは、単に総人口が減るだけではなく、高齢者が急増する一方で、若者、子供が急減するいびつな人口変動が起こることである。

有秋南小学校の30年前の生徒数は800人を超えていたが、今では200人を割ってしまった。併せて先生も減員され、地域の中心部に在って街づくりのシンボルである学校もいまいち寂しい。また先日、2050年には全国の公立小中学校は三分の一になるという東洋大学根本

教授の学校推計が発表された。私たちの母校がなくなる。子どもの声が聞こえない沈黙のまちになる。

人口減少の超高齢社会を生きる

かかる困難を一気に解決する特效薬はない。しかし、この局面に於いて政府・行政をはじめ私たちは何をし、何をしようとしているのでしょうか。

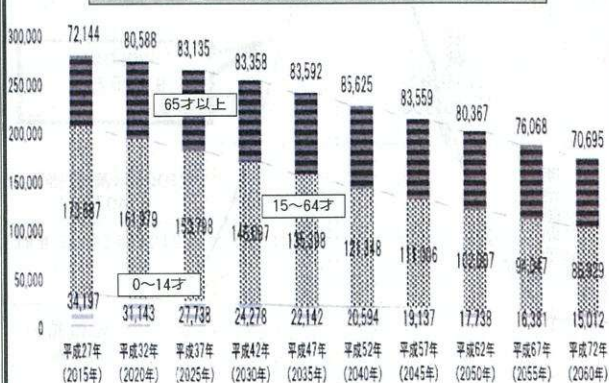
“人口の減少に歯止めをかける”ことを最大の目的とした「まち・ひと・しごと創生法」が2014年12月に施行された。これに基づいて、「市原市人口ビジョン（中長期ビジョン）」と「市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（直近5ヶ年の政策目標・施策）」を策定している。それによると2060年の市原市人口（展望値推計）は21万人を維持するとしている。そのためには、出生率の改善（1.39→1.80→2.03）、産業の活性化、若者・女性の希望を叶える支援など難しい課題解決が求められている。今この国難においては、考えられるあらゆる施策を、総力をあげて実施しなければならないが、地域の人の力「共助」が取り分け強く求められるのも、こうした厳しい理由があるのだ。

わが国では高度成長期のころまでは、家族や地域という共同体が残っていた。もともと家族や地域でやっていたことをどう「現在版共助」に変えていくか、それが私たちの使命ではないだろうか。

そこで留意することは、まず私たちを取り巻く「社会環境」や行政の「公助」を正確な情報に基づいて“知る”ことではないか。本当に有益な共助は正しく知ることから始まる。 /

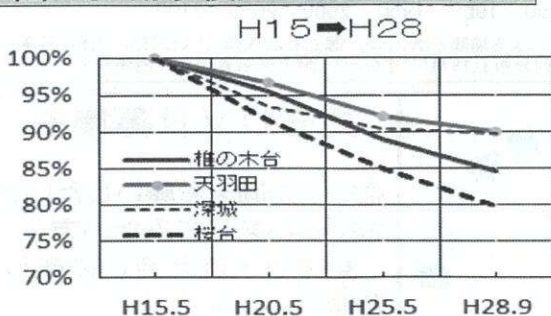
終わりに、長寿社会とは、支援者の負担も含めて長い老齢期をどう過ごすか、という誰もが背負う問題でもある。（笹野哲郎）

図-2 市原市の人口推計



出典：市原市人口ビジョンより

図-3 南小校区地域の人口動態



南小NW防災研修会 報告 (2018.1.31)

南小ネットでは、東京墨田区の「本所都民防災教育センター本所防災館」、千葉市の「ちば消防共同指令センター」、東京有明の防災体験学習施設「そなエリア東京」を訪問し、また東日本大震災で甚大な被害を受けた「旭市の津波被災現地」を視察する等して、防災・減災について学んできました。

今年“地元の防災体制を知る”というテーマで、有秋地区の「防災備品倉庫（有秋支所内）」、緊急時に飲料水を提供する千葉県水道局・福増浄水場姉崎分場の「応急給水設備」、市原市の「防災備品倉庫（市役所内）」および防災機能を備えた「上総更級公園」を視察した。そして市総務部危機管理課のご協力による講義を頂きましたが、有秋地区、市原市という身近な視点でのお話だったので、大変興味深く有意義な講習会となりました。



寒い朝 全員集合！



有秋支所備品倉庫



応急給水設備



市役所備品倉庫
2018.1.31



防災機能を備えた上総更級公園
2018.1.31



地元の防災体制を知る！講習会



2018.1.31

CAMERA REPORT

2018. 11~12

お楽しみクリスマスコンサート



恒例の南小ネットワーク主催「おたのしみクリスマスコンサート」を12月24日開催しました。演奏は昨年と同様、マリンバの吉田桐子さん、パーカッションの塩谷亜弓さん、ピアノの小田原志保さんでした。また「有秋中学校吹奏楽部」のみなさんの特別参加を頂きました。
赤ちゃんからお爺ちゃんお婆ちゃんまで楽しい一日を過ごすことができました。

南小校外マラソン支援

期間中、子どもたちの安全見守りや応援声かけのため、地域の皆様方のご協力を頂き誠に有難うございました。



イベント案内 (2月~4月)

月	日	曜	行事
2	1	木	南小学校評議員会
2	20	火	NW推進委員会
2	24	土	南小ありがとう集会
3	9	金	有秋中卒業式
3	16	金	南小卒業式
3	20	火	NW推進委員会
3	27	火	安心訪問員会議 (合同)
3	29	木	南小離任式
4	9	月	有秋中入学式
4	10	火	南小入学式
4	17	火	NW定期総会

編集後記

先日、運転中“ふと目に入った光景”が、何故かその時、心に留まり今も残っている。最近ではよく見かける極ありふれた1コマだが。

老夫妻が、お揃いの洒落たリュックを背負ってトコトコと団地の方向に歩いてた。徒歩で30分程のスーパーから

の帰り道だろうか、リュックは膨らんでいた。

昔、母から“食糧買い出し”の苦労話を聞いた覚えがある。あの老夫妻の姿が、何故かこの話と重なった。

時代は進んでも同じような悩みは続いている。形は変わっているけれど……。 (S.T)